

2026 年出題趣旨

小論文試験は、幅広い知見によって支えられた分析力と論理的思考力、思考の過程および結果を的確に表現する論述力、正義と権利に敏感で、社会・経済に対する強い関心を持ち、そこで生じている問題を発見し、これを適切に処理することができる基本的能力を受験者が有しているかを判定する目的で実施されるものである。

本小論文試験は、benevolence（慈悲心、善意）に基づいてルールを破る場合があり、それによりルールが発展していく可能性がある一方、予想もしなかった結果をもたらす危険がある旨の論稿を素材として、下記のような点について論述を求めることを通じ、上記の能力について評価する趣旨で実施された。

設問 1 では、ルールと benevolence の意味を明らかにしつつ、ルール破りについて筆者の主張を要約することが求められている。ここでは、主として、問題文を正確に読み取り、適切にその要点をまとめ、簡潔かつ論理的に表現することができるかどうか問われる。

設問 2 では、ルール破りにより社会集団そのものにどのような影響が及びうるかについて、設問 1 で解答した内容も踏まえつつ推論し、説明することが求められている。ここでは、ルール破りが社会集団にもたらす影響の要点を正確に捉えた上でそこからの帰結を論理的に導き出し、自己の言葉も使いながら、端的に表現することができるかどうか問われている。

なお、本小論文試験は、上記の各能力を評価の対象とするものであり、法律学や野球にかかる特別な知識の有無、法律の条文を解釈する能力等を評価の対象とするものではない。